

千刈狸の呟き

～ ねこもするなる ～

三月遅れの呟き。そう、南アフリカ大会。早朝よりテレビにかじりつきました。視聴率48%とか。

日本中が沸きましたね。表題はどなたかの川柳の中7文字。下5文字は「たまあそび」。上5文字は忘れまして。いつかの大会の折に載ったものをパクリました。「〇〇〇〇〇 猫もするなる 玉遊び」。

Homo Ludens：人間は遊びが好き。分けても玉遊び。小はパチンコ玉から大は運動会の玉ころがしまで。見るにしろ、やるにしろ、賭けるにしろ！ 好きですねー、玉遊び。猫はともかく、千刈狸はどうでしょう？

そこで今回は当狸の玉遊び歴：雪深き里（小坂町）の生まれゆえ、始まりは雪だるまと雪合戦。運動神経鈍く顔に受けては泣かされる一方でした。次が野球。初めて観たのが昭和20年。日米対抗！エ？ 実は小坂町には強制労働の中国人や米軍捕虜がいて、進駐軍がいち早く入りました。彼等の暇つぶしに鉱山の人達とやっていたようです。「あれは野球というものだ」と父が教えてくれました。

ちなみに今をときめく康楽館は当時中国人の収容所でした。彼等は軍事訓練を受けた後、青天白日旗を翻してどこかへ去って行きました。小学校から中学校にかけては野球全盛。姉がグローブを縫ってくれました。しかしキャッチボール止まり。なにしろ運動神経が……守ればトンネル、打てば三振でなかなか交ぜてもらえませんでした。

少しとんでサッカー。(釜石) 高校時代。サッカーの上手いイケメンの先生につられてのめり込みました。受験を控えていたため部活には入らずクラスメートだけで放課後日が暮れるまでボールを追っかけたものです。今なお足癖の悪さが残ります。当時釜石は景気絶好調。よく外国船が入りました。船で1チームあり、派手なユニフォームで高校サッカー部とやっていました。その頃マイナーなサッカーが今のような隆盛を見るとは夢にも思いませんでした。

ずーっととんでボウリング。大学医局時代。第一次ボウリングブームの中山律子、須田加代子、並木恵美子って分かります？ 分かる人はかなりのお年ですネー。借家の近くのボウリング場によく通いました。トランク先にボウリング場があると知れば15ポンドのマイボウルを下げているそと。ところが医局長の知るところとなり、「細かい手術をする外科医が何だ。指をこわしたらどうする。それよりゴルフをやれ」と。それには逆らったまま本荘に赴任しました。

本荘にも本田仲町と御門町に向かい合って大きなボウリング場がありました。が次第に衰退しマイボウルと共に消えました。病院の医局はすでにゴルフが主流。ある日突然ゴルフバッグが届きました。某先生「なかなか始めないから、代わりに注文してやったからね」と。ズルズル引き込まれ、せっせと練習場に通り、庭でも素振りの毎日。しかし運動神経が……。楽しんでには100を切ったことも無く、常時ブービーメーカーで皆さんに貢献しました。それも腰痛を機会に遠ざかり、長らく本業に勤しむことになりました。

やがて昨年、心身の衰えを理由に本業を半分以上にさせていただきました。それまで病棟外来と1日1万歩近く動いていたのが無くなり、運動不足かなと、とあるボウリング場を訪ねました。10ポンドのボウルの重いこと！30年以上のギャップですものね。それでもどうにか楽しんでいたある日左胸に痛みが走りました。肋骨に局在性圧痛があり、脆弱性不全骨折！このような時骨狸は「3週間もすれば治りますよ」と言っていました。がすっかり痛みが取れるまで3ヶ月近くかかりました。今後ムンテラを変えましょう(my EBM!)。指の古傷も痛みがぶり返して来ております。しかし、ゴルフの「カコーン」のようにボウリングの「カシャーん」という破壊音も麻薬のように堪えられません。しばし、体をいたわりながら続けてゆきそうな様子です。

(骨 狸)